



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月10日

上場会社名 日本金銭機械株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6418 URL http://www.jcm-hq.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上東 洋次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 高垣 豪 TEL 06-6703-8400
 経営企画本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	20,589	△3.3	1,124	△27.2	2,145	11.6	1,730	28.9
26年3月期第3四半期	21,289	15.2	1,544	18.2	1,922	29.6	1,342	12.8

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,079百万円 (△55.8%) 26年3月期第3四半期 2,440百万円 (133.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	64.13	—
26年3月期第3四半期	49.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	40,157	27,964	69.6	1,036.54
26年3月期	33,683	27,223	80.8	1,009.07

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 27,964百万円 26年3月期 27,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
27年3月期	—	8.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,900	0.3	1,300	△26.2	1,750	△17.3	1,350	△4.8	50.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	29,662,851株	26年3月期	29,662,851株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	2,684,569株	26年3月期	2,684,246株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	26,978,515株	26年3月期3Q	26,979,307株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では民需主導による緩やかな拡大が続きましたが、欧州では政府債務問題等の影響から、引き続き低調に推移いたしました。一方、国内経済は、夏場以降持ち直しつつあるものの、消費税増税後の個人消費の落ち込みや、輸出の伸び悩みなどから、景気回復の足取りは鈍い状態が続きました。

当社グループを取り巻く環境について、海外市場のうち、北米地域ではカジノの新規出店や既存店の拡張工事が大幅に減少するなど厳しい状況が続き、また、欧州地域では、ゲーミング市場、流通・金融市場ともに需要が大きく刺激されるまでには至りませんでした。一方、国内市場のうち、遊技場向機器市場では、遊技人口の減少に加えて、消費税率引き上げによる消費マインドの冷え込みから、パチンコホールの営業はマイナスの影響を受けましたが、金融・流通市場における設備投資は、比較的好調に推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、昨年8月に買収した米国FutureLogic Group, LLC.とのシナジー効果を早期に発揮できる体制作り注力するとともに、アジアの新興国を含む様々な市場への提案・販売活動を通じて、収益の確保・拡大に取り組んでまいりました。

しかしながら、主に北米ゲーミング市場における需要の減退が響き、当第3四半期連結累計期間における売上高は、205億89百万円（前年同四半期比3.3%減）となり、営業利益は11億24百万円（前年同四半期比27.2%減）となりました。一方、第3四半期末日の米ドルレートが120円62銭と円安に進み、外貨建資産の為替時価換算差額（差益）を計上したことから、経常利益は21億45百万円（前年同四半期比11.6%増）、四半期純利益は、税金費用の減少などにより、17億30百万円（前年同四半期比28.9%増）となりました。

なお、当第3四半期の平均為替レートは、米ドル103.26円（前年同四半期は96.62円）、ユーロは139.15円（前年同四半期は127.44円）で推移いたしました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①日本地域

遊技場向機器市場ではパチンコホールの設備投資抑制が続く中、メダル自動補給システムの販売が堅調に推移し、また、金融・流通市場では紙幣還流ユニットなどのOEM製品の販売が順調であったことなどから、当セグメントの売上高は112億98百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。また、外貨建資産の為替時価換算差額（差益）を計上したことから、セグメント利益は21億61百万円（前年同四半期比200.0%増）となりました。

②北米地域

新規カジノの出店減少・延期に伴う受注の減少や、過去に販売した旧タイプの紙幣識別機ユニットの入替需要が一巡したことなどから、当セグメントの売上高は64億81百万円（前年同四半期比16.4%減）となり、利益面では、競争激化に伴う収益率の低下に加え、買収関連費用を計上したことなどから、セグメント損失は3億50百万円（前年同四半期は5億34百万円の利益）となりました。

③欧州地域

ゲーミング市場向けの紙幣還流ユニットの販売が順調に推移したものの、英国の流通市場向け販売が減少したことから、売上高は現地通貨ベースでは若干の減少となりましたが、期末日の為替相場がユーロ高で進行したことから、当セグメントの売上高は54億53百万円（前年同四半期比0.2%増）、セグメント利益は8億5百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。

④アジア地域

当セグメントは、当社グループの生産機能を担っております。北米市場向けの販売減少の影響などから、当セグメントの売上高は67億14百万円（前年同四半期比12.6%減）となりましたが、グループ本社に対する支払手数料が減少したことから、セグメント利益は2億6百万円（前年同四半期比31.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は401億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ64億74百万円増加いたしました。主に、FutureLogic Group, LLC.の全持分を取得したことなどによって、固定資産が76億93百万円増加いたしました。一方、当該企業取得にあたり、自己余剰資金の一部を支出したことなどから「現金及び預金」が15億59百万円減少いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は121億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ、57億33百万円増加いたしました。主に、企業取得にあたって、銀行からの融資を受けたことにより「短期借入金」が55億円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、279億64百万円となりました。四半期純利益の計上があったことなどから、前連結会計年度末に比べ7億40百万円増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間では、仕入債務の減少9億23百万円、法人税等の支払額2億75百万円などの資金の支出がありましたが、税金等調整前四半期純利益21億26百万円、たな卸資産の減少10億2百万円などの資金の増加がありましたので、営業活動によるキャッシュ・フローは13億13百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出75億42百万円、有形固定資産の取得による支出3億90百万円などの資金の支出がありましたが、79億1百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、配当金の支払額4億45百万円、リース債務の返済による支出1億68百万円などの資金の支出がありましたが、短期借入れによる収入55億円などの資金の収入がありましたが、49億41百万円の収入となりました。

これらの結果に加え、現金及び現金同等物に係る換算差額1億43百万円の資金の増加がありましたが、現金及び現金同等物は69億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ、15億3百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想については、平成26年11月5日付第2四半期決算短信の公表数値から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が166,431千円増加し、利益剰余金が107,181千円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,813,989	8,254,385
受取手形及び売掛金	6,559,151	7,197,763
有価証券	107,878	32,339
商品及び製品	6,368,962	5,258,121
仕掛品	1,029,474	777,831
原材料及び貯蔵品	2,330,874	3,525,021
その他	895,781	939,562
貸倒引当金	△170,980	△269,314
流動資産合計	26,935,132	25,715,710
固定資産		
有形固定資産	5,112,959	5,243,510
無形固定資産		
のれん	—	7,255,197
その他	69,092	83,640
無形固定資産合計	69,092	7,338,838
投資その他の資産		
その他	1,617,264	1,910,640
貸倒引当金	△51,342	△51,574
投資その他の資産合計	1,565,921	1,859,065
固定資産合計	6,747,974	14,441,415
資産合計	33,683,106	40,157,125
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,767,039	3,310,094
短期借入金	—	5,500,000
未払法人税等	55,710	195,952
賞与引当金	289,096	139,620
役員賞与引当金	27,000	14,150
その他	1,818,163	2,459,455
流動負債合計	5,957,009	11,619,272
固定負債		
その他	502,724	573,705
固定負債合計	502,724	573,705
負債合計	6,459,734	12,192,978
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,216,945	2,216,945
資本剰余金	2,068,964	2,068,964
利益剰余金	25,520,525	26,912,563
自己株式	△2,328,593	△2,329,164
株主資本合計	27,477,841	28,869,308
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,329	112,172
為替換算調整勘定	△316,799	△1,017,333
その他の包括利益累計額合計	△254,469	△905,160
純資産合計	27,223,372	27,964,147
負債純資産合計	33,683,106	40,157,125

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	21,289,009	20,589,543
売上原価	13,647,845	12,928,675
売上総利益	7,641,163	7,660,868
割賦販売未実現利益戻入額	42,350	54,188
割賦販売未実現利益繰入額	70,558	96,256
差引売上総利益	7,612,955	7,618,800
販売費及び一般管理費	6,067,977	6,494,230
営業利益	1,544,977	1,124,569
営業外収益		
受取利息	19,327	27,471
受取配当金	13,236	11,444
為替差益	305,155	1,137,715
持分法による投資利益	—	10,295
その他	59,764	51,380
営業外収益合計	397,483	1,238,307
営業外費用		
支払利息	11,824	34,112
持分法による投資損失	7,044	—
買収関連費用	—	178,876
その他	613	4,276
営業外費用合計	19,482	217,264
経常利益	1,922,979	2,145,612
特別利益		
固定資産売却益	1,851	107
投資有価証券売却益	20,572	—
特別利益合計	22,424	107
特別損失		
固定資産除却損	3,295	19,018
固定資産売却損	1,115	—
特別損失合計	4,411	19,018
税金等調整前四半期純利益	1,940,992	2,126,701
法人税、住民税及び事業税	553,448	342,264
法人税等調整額	45,097	54,434
法人税等合計	598,546	396,698
四半期純利益	1,342,446	1,730,003

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
四半期純利益	1,342,446	1,730,003
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,507	49,842
繰延ヘッジ損益	△2,729	—
為替換算調整勘定	1,116,302	△702,527
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,402	1,993
その他の包括利益合計	1,097,662	△650,691
四半期包括利益	2,440,108	1,079,311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,440,108	1,079,311
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,940,992	2,126,701
減価償却費	365,717	423,733
のれん償却額	—	40,987
引当金の増減額 (△は減少)	△152,502	△123,513
持分法による投資損益 (△は益)	7,044	△10,295
買収関連費用	—	178,876
受取利息及び受取配当金	△32,563	△38,915
支払利息	11,824	34,112
為替差損益 (△は益)	△257,269	△1,134,259
有形固定資産除売却損益 (△は益)	2,559	18,910
投資有価証券売却損益 (△は益)	△20,572	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△809,146	△68,495
たな卸資産の増減額 (△は増加)	956,281	1,002,590
仕入債務の増減額 (△は減少)	361,981	△923,438
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△7,919	106,571
その他	98,371	△49,512
小計	2,464,797	1,584,052
利息及び配当金の受取額	32,587	38,397
利息の支払額	△11,824	△34,112
法人税等の支払額	△473,342	△275,172
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,012,218	1,313,165
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△253,224	—
有価証券の純増減額 (△は増加)	△2,389	81,080
有形固定資産の取得による支出	△351,408	△390,049
有形固定資産の売却による収入	2,216	553
無形固定資産の取得による支出	△16,393	△42,286
投資有価証券の取得による支出	△2,900	△8,703
投資有価証券の売却による収入	50,599	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による 支出	—	△7,542,421
その他	—	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△573,500	△7,901,847
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	5,500,000
配当金の支払額	△511,970	△445,276
リース債務の増加による収入	84,494	55,177
リース債務の返済による支出	△174,900	△168,019
自己株式の取得による支出	△2,346	△571
財務活動によるキャッシュ・フロー	△604,723	4,941,310
現金及び現金同等物に係る換算差額	360,423	143,477
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,194,417	△1,503,893
現金及び現金同等物の期首残高	6,982,706	8,488,719
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,177,123	6,984,825

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本地域	北米地域	欧州地域	アジア地域	
売上高					
外部顧客への売上高	7,989,228	7,689,807	5,430,159	179,813	21,289,009
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,853,989	60,621	11,850	7,504,990	10,431,451
計	10,843,217	7,750,429	5,442,009	7,684,804	31,720,460
セグメント利益	720,472	534,043	820,979	156,770	2,232,265

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,232,265
未実現利益の消去	△82,778
受取配当金の消去	△222,975
全社収益	13,261
その他の調整額	△16,793
四半期連結損益計算書の経常利益	1,922,979

(注) 全社収益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本地域	北米地域	欧州地域	アジア地域	
売上高					
外部顧客への売上高	8,725,499	6,417,553	5,446,490	—	20,589,543
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,572,944	63,906	6,912	6,714,596	9,358,359
計	11,298,443	6,481,459	5,453,402	6,714,596	29,947,902
セグメント利益又は損失(△)	2,161,069	△350,527	805,680	206,437	2,822,660

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,822,660
未実現利益の消去	34,952
受取配当金の消去	△723,458
全社収益	11,458
四半期連結損益計算書の経常利益	2,145,612

(注) 全社収益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるJCM American Corporationの下に設立した孫会社JCM Innovation Corporationを通じて、米国FutureLogic Group, LLC.の全持分を取得したことから、同社の子会社6社を含む計8社を新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「北米地域」セグメントにおいて7,546,689千円増加しております。なお、取得原価の配分が未了であるため、当該セグメント資産の増加額は暫定的な金額であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「北米地域」セグメントにおいて、平成26年8月29日付で、米国FutureLogic Group, LLC.の全持分を取得いたしました。取得原価の配分が未了であるため暫定的な金額ではありますが、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において7,255,197千円であります。